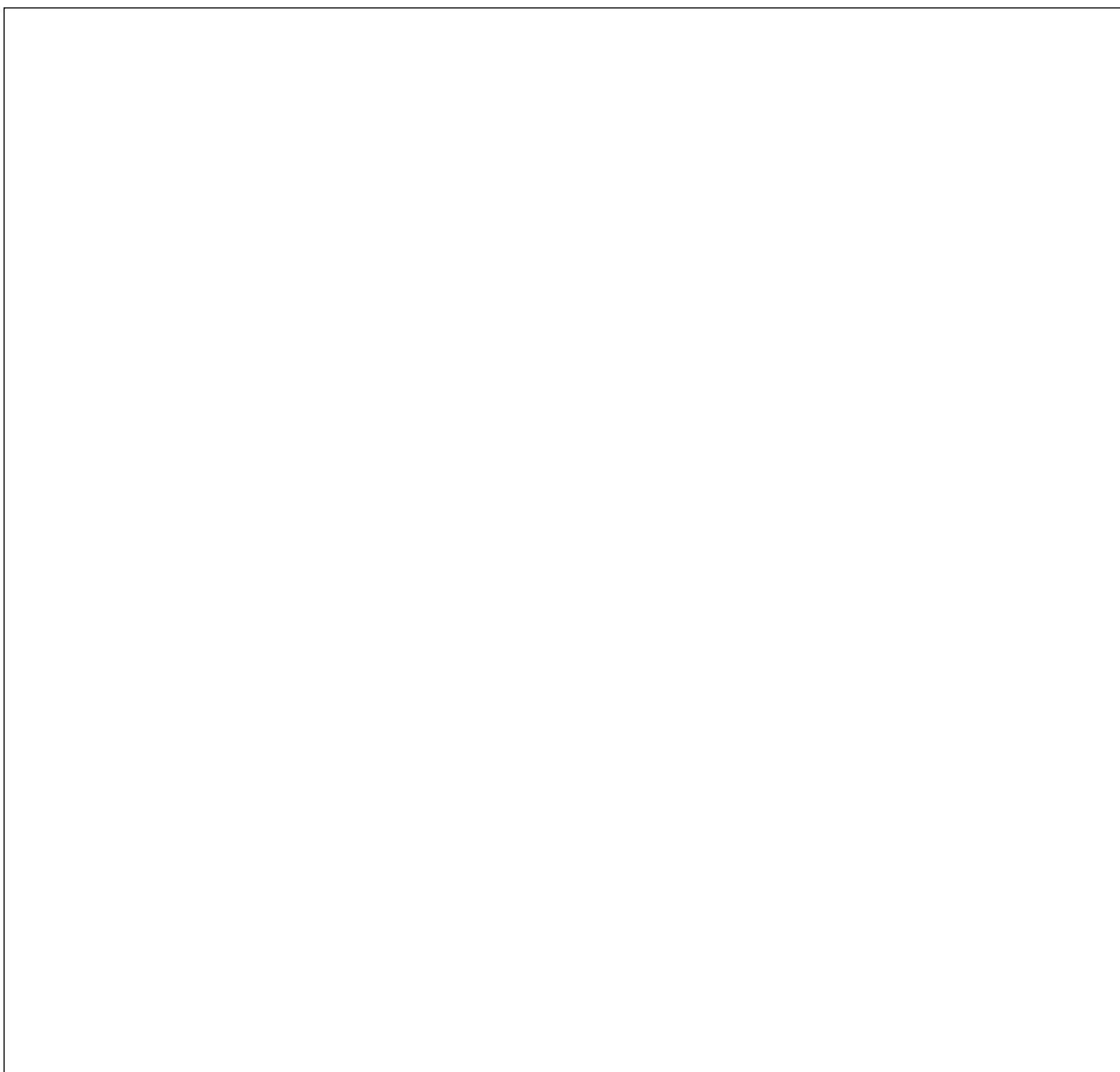


Panasonic®

取扱説明書 運用編

機能拡張ソフトウェア

品番 WV-SAE303W



本書では、品番の一部を省略している場合があります。

はじめに

取扱説明書について

本書は、WV-SAE303W（以下、本製品）に付属の「集計・グラフ簡易表示アプリケーションソフト（以下、集計・グラフ簡易表示アプリ）」を用いた運用時の操作方法について説明しています。本製品は「機能拡張ソフトウェア」をカメラに登録のうえ、ご使用いただくことを前提としているため、ご使用の際には、お使いのネットワークカメラ（以下、カメラ・別売り）の取扱説明書も併せて必ずお読みください。

お使いのカメラの機種によっては、本書で使用しているカメラの画面と異なる場合があります。

対象のカメラに本製品の「機能拡張ソフトウェア」を登録する方法と運用を開始する前に必要な設定については、本製品の「取扱説明書 設置・設定編」をお読みください。

本書で使用しているカメラの画面は、WV-S4150を代表として記載しています。

お使いの機種によっては、説明の画面とカメラの画面が異なる場合があります。

PDF ファイルをお読みにするには、アドビシステムズ社のAdobe® Reader® 日本語版が必要です。パソコン（以降、PC）にAdobe® Reader® 日本語版がインストールされていないときは、アドビシステムズ社のホームページから最新のAdobe® Reader® 日本語版をダウンロードし、インストールしてください。

略称について

本書では以下の略称を使用しています。

ネットワークカメラをカメラと表記しています。

「集計・グラフ簡易表示アプリケーションソフト」を「集計・グラフ簡易表示アプリ」と表記しています。

付属ソフトウェアについて

●人数カウント簡単設定ツール（付属品）

人数カウントのための設定を簡単に行うためのツールです。詳細については、「取扱説明書 設置・設定編」を参照してください。

●集計・グラフ簡易表示アプリ（付属品）

取得した人数カウント情報を集計し、帳票作成を行うためのアプリケーションです。機能については、本書をお読みください。

もくじ

はじめに

取扱説明書について	2
略称について	2
付属ソフトウェアについて	2

準備

運用までの流れ	4
集計・グラフ簡易表示アプリについて	5
集計・グラフ簡易表示アプリの起動	7

設定

カメラ情報の登録・編集	8
環境設定	10

運用

データ取得	11
データ出力	14

その他	20
ログ表示機能について	20
エラーメッセージについて	21
Q&A	25
制約事項	26
設定情報エクスポートデータ	27
フォルダー・ファイルについて	28

運用までの流れ

設置・設定

- 1 機能拡張ソフトウェアのインストールを行う
- ↓
- 2 人数カウント簡単設定ツールのインストールを行う
- ↓
- 3 集計・グラフ簡易表示アプリのインストールを行う
- ↓
- 4 カメラの設置と設定を行う

※詳細は取扱説明書 設置・設定編を参照してください。



1

「集計・グラフ簡易表示アプリ」の起動
☞ 5～7ページ



2

「集計・グラフ簡易表示アプリ」の設定・編集
☞ 8～10ページ



3

「集計・グラフ簡易表示アプリ」を用いた人数カウントデータの取得
☞ 11～13ページ



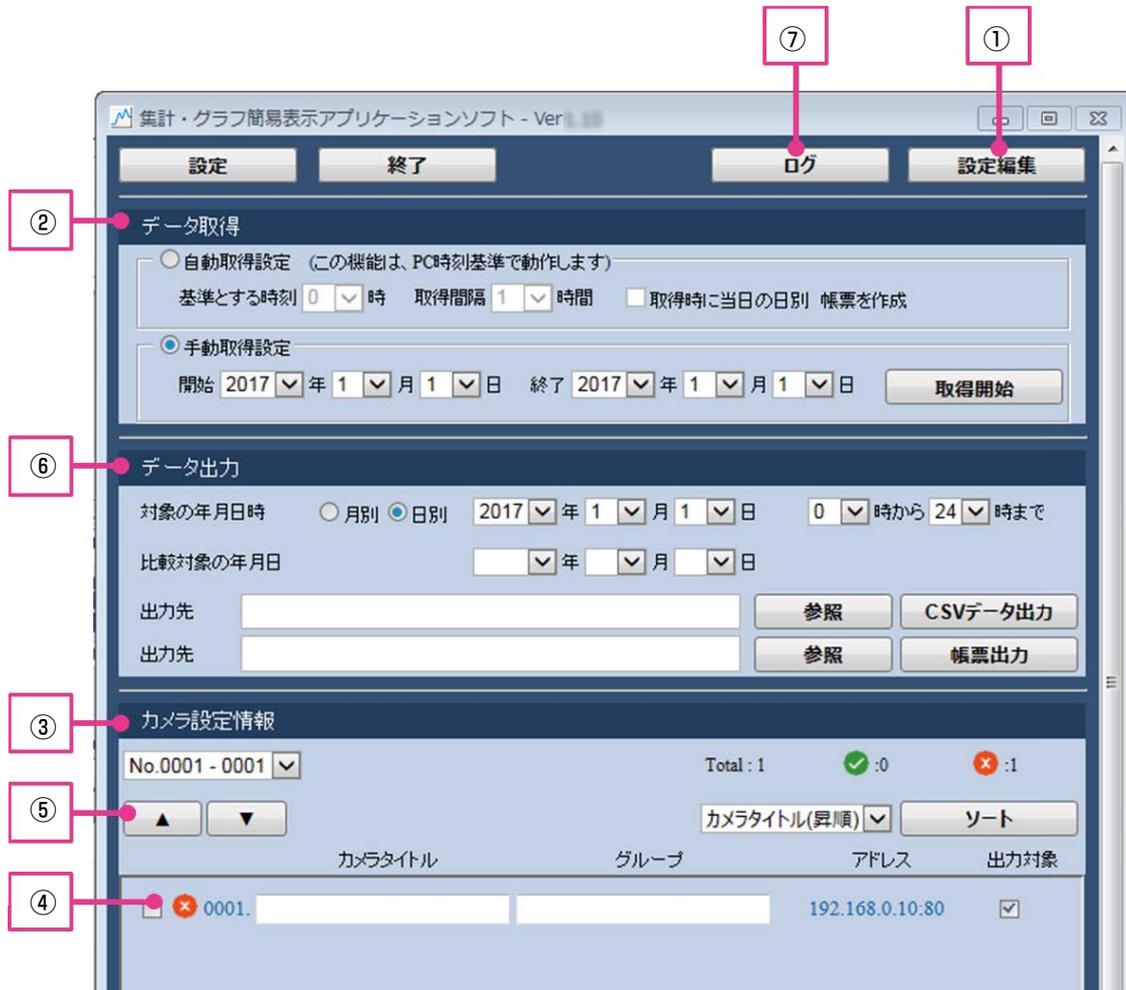
4

「集計・グラフ簡易表示アプリ」を用いた集計結果データの出力
☞ 14～19ページ

集計・グラフ簡易表示アプリについて

「集計・グラフ簡易表示アプリ」メイン画面

「集計・グラフ簡易表示アプリ」のメイン画面の各機能概要を説明します。



①設定編集機能

次ページに示す設定編集画面よりカメラの登録やUターン補正機能の編集が可能です。

②データ取得機能

カメラから人数カウントデータをPCに取得します。取得方法には下記の2パターンがあります。

- 自動データ取得（自動取得設定）
- 手動データ取得（手動取得設定）

③カメラ設定情報一覧表示機能

カメラ設定情報を一覧で表示できます。

④カメラ状態表示機能

カメラの状態を確認することができます。

⑤カメラ設定情報出力順変更機能

データ出力時のカメラの順番を変更できます。

⑥データ出力機能

カメラから取り込んだ人数カウントデータを下記の2形式から選択して出力できます。

- CSVデータ
- 帳票

⑦ログ表示機能

ログ表示が可能です。

集計・グラフ簡易表示アプリについて（つづき）

「集計・グラフ簡易表示アプリ」設定編集画面

「集計・グラフ簡易表示アプリ」の設定編集画面の各機能概要を説明します。



①カメラ情報インポート機能

本アプリや「人数カウント簡単設定ツール」からエクスポートしたカメラ情報をインポートできます。

②カメラ情報追加機能

カメラ情報を新たに1台追加することができます。最大96台まで追加できます。

③カメラ情報編集機能

設定されているカメラ情報を修正することが可能です。

④環境設定機能

本アプリの共通設定項目が設定できます。

⑤カメラ情報エクスポート機能

本アプリで設定しているカメラ情報をエクスポートできます。

⑥Uターン補正設定機能

カメラごとにUターン補正機能のON/OFFが設定できます

集計・グラフ簡易表示アプリの起動

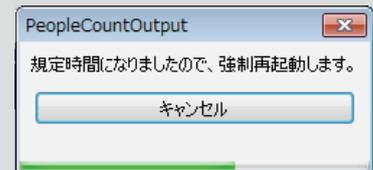
デスクトップに生成されたショートカット「集計・グラフ簡易表示アプリケーションソフト」をダブルクリックすると「集計・グラフ簡易表示アプリ」が起動します。

お知らせ

- 「集計・グラフ簡易表示アプリ」画面のデータ取得で「自動取得設定」を設定している場合、PCのログイン時に自動的にデータを取得します。そのためアプリが自動的に起動します。
※データ取得開始時には、フリーズしたような状態になりますが数秒後には復帰します。
- Windowsの表示言語が日本語以外の場合、「集計・グラフ簡易表示アプリ」画面の表示は英語表示になります。
- Windowsの表示言語の設定に応じた言語のMicrosoft Excelをご利用ください。（言語設定が日本語であれば日本語版、英語であれば英語版のMicrosoft Excel）
- 「集計・グラフ簡易表示アプリ」のフォルダーやファイルについては、「その他」の「フォルダーやファイルについて」(P.28ページ)を参照ください。

重要

- カメラと「集計・グラフ簡易表示アプリ」を使用するPCの時刻を合わせてください。
- 本アプリを2つ以上同時に起動できません。
- PCのログアウト中は自動的にデータを取得することができません。ログイン中のみ動作可能です。
- アプリが強制終了された場合、データ取得継続のために自動的にアプリが再起動します。
- 快適にアプリをご使用いただくため、PC時刻が1:50になると再起動機能が実行されます。作業中の場合は右のメッセージウィンドウで「キャンセル」を選択し、再起動を中止することができます。



カメラ情報の登録・編集

人数カウント用のカメラは、設定編集画面で登録・編集します。



カメラ情報の登録

カメラ情報の登録方法は右の3通り

新規インポート

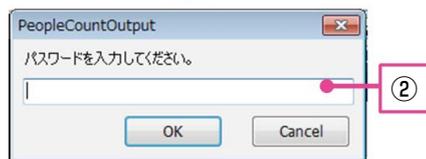
追加インポート

新規追加

カメラ情報の編集・削除

カメラ情報のエクスポート

設定編集画面を表示するには、下の手順を実行します。



① [設定編集] ボタンを押します。

※初回時のみ「環境設定画面」が表示されます。表示にしたがってパスワードを設定してください。

②設定編集画面のログインパスワードを入力します。(入力が失敗しても、エラーは表示されません。)

カメラ情報のインポート



[インポート] ボタンを押し、インポート方法を選択します。インポート方法選択後、インポートファイルを開きます。インポートできるファイルは、「人数カウント簡単設定ツール」または「集計・グラフ簡易表示アプリ」でエクスポートしたデータ (*.dat) になります。

【新規インポート】

現在のカメラ情報を削除し、新たにカメラ情報を登録します。また、本アプリの共通設定をインポートします。

【追加インポート】

現在のカメラ情報に追加でカメラ情報を登録します。

カメラ情報の新規追加



① [新規追加] ボタンを押し、新規追加画面を開きます。

②新規追加画面で各情報を入力し、[OK] ボタンを押します。カメラ情報が追加されます。

お知らせ

- 「カメラタイトル」、「グループ」の入力は省略可能です。「アドレス」の「http://」は入力不要です。
- 「アドレス」にはIPアドレスまたはホスト名を入力してください。
- インターネット経由でカメラの人数カウントデータを収集する場合は、カメラにDDNSサービス(みえますねっとサービスなど)や固定IPアドレスサービスなどに登録する必要があります。詳細はネットワークカメラの取扱説明書 操作・設定編を参照ください。

カメラ情報の登録・編集（つづき）

重要

- カメラは96台まで登録が可能です。
- 「人数カウント簡単設定ツール」でエクスポートしたファイルをインポートする際、運用後に再度同じファイルをインポートしないでください。既存の人数カウントデータが削除される可能性があります。
- カメラ情報で入力可能な文字については、本書の「その他」-「制約事項」(P.26ページ)を参照してください。

カメラ情報の編集

設定されているカメラ情報を編集することができます。下記項目について編集が可能です。

「カメラタイトル」(省略可)
「グループ」(省略可)
「アドレス」(http://は不要です。)
「ユーザー名」
「パスワード」
「HTTPポート番号」



重要

- グループ名に「Total」、「Err」、「Settings」(大文字/小文字は区別しない)は使用できません。
- 同じアドレスとHTTPポート番号の組み合わせは登録できません。
- 運用後、アドレスまたはHTTPポート番号に変更が必要な場合、本アプリ上でも設定を変更してください。新しい設定にデータを関連付けます。

カメラ情報の削除

設定編集画面の左横の「チェックボックス」を選択し、[削除] ボタンを押すと、選択したカメラ情報が削除されます。



カメラ情報の設定

カメラ情報の編集完了後、「設定」ボタンを押します。現在のカメラ情報が保存され、次回起動時には保存されたカメラ情報が表示されます。

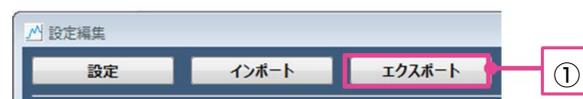


お知らせ

- 設定編集画面でUターン補正機能の設定ができます。本書の「データ出力」-「カウントデータの補正設定について」(P.19ページ)を参照してください。

カメラ情報のエクスポート

- ① [エクスポート] ボタンを押すと、現在のカメラ情報および「集計・グラフ簡易表示アプリ」の共通設定がエクスポートされます。
- ②エクスポート先を指定し、ファイル名を入力して[保存] してください。



重要

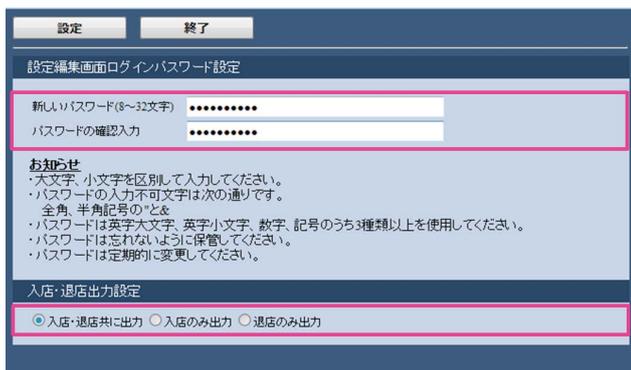
- 「集計・グラフ簡易表示アプリ」のカメラ情報編集画面からエクスポートしたファイルは、「人数カウント簡単設定ツール」でインポートできません。

環境設定

「集計・グラフ簡易表示アプリ」の環境設定画面では、ログインパスワード設定と入店・退店出力設定ができます。環境設定画面を表示するには、[環境設定] ボタンを押してください。



環境設定



【設定編集画面ログインパスワード設定】

設定編集画面にログインするためのパスワードを設定できます。

重要

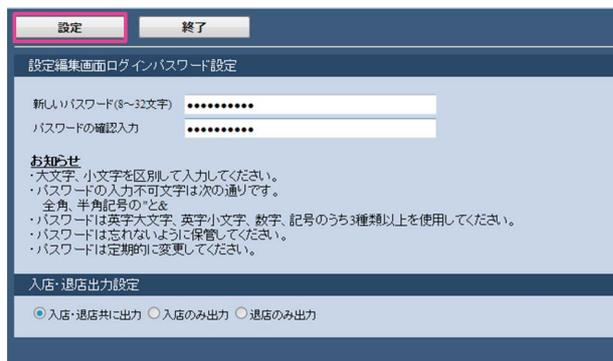
- 大文字、小文字を区別して入力してください。
- 全角、半角記号の“と&は使用できません。
- パスワードは英字大文字、英字小文字、数字、記号のうち3種類以上を使用してください。
- パスワードは忘れないように保管してください。
- パスワードは定期的に変更してください。

【入店・退店出力設定】

CSVデータや帳票に出力する人数カウントデータの種別として、下記の3パターンから選択できます。

- 「入店・退店共に出力」
- ／「入店のみ出力」
- ／「退店のみ出力」

環境設定を保存



環境設定を保存する場合、[設定] ボタンを押してください。設定が完了すると環境設定画面が閉じます。

お知らせ

- 設定を変更せずに環境設定を終了する場合は、「設定」ボタンを押さずに [終了] ボタンを押してください。

設定編集の終了

「終了」ボタンを押すと、設定編集画面を閉じることができます。



お知らせ

- カメラ情報を編集して「設定」ボタンを押さずに終了すると、「変更した内容を保存しますか？」と表示されるので、保存する場合には「はい」を選択してください。

データ取得

データ取得ではカメラから人数カウントデータを取得します。取得方法には自動取得と手動取得の2種類があり、「自動取得設定」と「手動取得設定」のどちらかを選択して設定します。

自動取得設定

定期的にカメラから人数カウントデータを自動的に取得し、PCに保存できます。



- ① 「自動取得設定」のラジオボタンを選択します。
- ② 「自動取得設定」の「基準とする時刻」と「取得間隔」を設定します。設定した時刻(0～23時)を基準として、「取得間隔」に設定した時間間隔(1, 2, 4, 8, 12, 24時間)で自動的にデータを取得します。
例) 「基準とする時刻：2時、取得間隔：8時間」に設定した場合、「2時、10時、18時」にデータを自動取得します。
- ③ 「取得時に当日の日別 帳票を作成」にチェックをつけて設定した場合、データの自動取得時に帳票（[日報]）を出力します。
※比較対象のデータは含まれません。
- ④ 「設定」ボタンを押し、設定を反映します。

お知らせ

- データ取得中は画面右下に右のようなメッセージが表示されます。

重要

- データ取得開始時には、フリーズしたような状態になりますが数秒後には復帰します。
- カメラ内部に人数カウントデータが含まれていない場合、新たなデータは取得されません。
- 「自動取得設定」を設定した場合、「終了」ボタンは無効となります。終了する際は、設定を「手動取得設定」に変更してください。
- 出力した帳票を開いたまま自動取得すると帳票が更新されません。自動取得時は帳票を閉じてください。また、当日の帳票を参照する場合は、コピーした帳票を参照してください。
- 登録しているカメラの台数によっては指定した時間内にデータが取得できない場合があります。

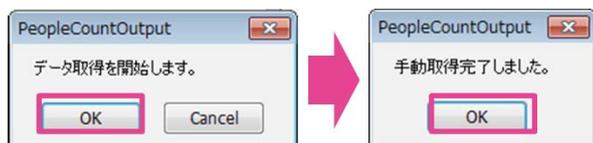
データ取得（つづき）

手動取得設定

指定した期間の人数カウントデータを手動で取得し、PCに保存できます。



- ① 「手動取得設定」のラジオボタンを選択します。
- ② 「手動取得設定」の「開始」と「終了」にデータを取得したい期間を設定します。(2017年1月1日～2050年12月31日まで指定可能)
- ③ [設定] ボタンを押し、設定を反映します。
- ④ [取得開始] ボタンを押すと取得開始のメッセージが表示され、[OK] ボタンを押すと開始します。データの取得が終了すると、手動取得完了のメッセージが表示されます。



お知らせ

- データ取得中は取得が完了したカメラ情報が画面右下にが表示されます。

cam5.localhost:80 - データ取得完了

重要

- データ取得開始時には、フリーズしたような状態になりますが数秒後には復帰します。
- カメラ内部に人数カウントデータが含まれていない場合、新たなデータは取得されません。

データ取得（つづき）

カメラ状態表示機能について

「集計・グラフ簡易表示アプリ」にはカメラ状態表示機能が備わっています。カメラは「正常」、「異常」の2状態に分類され、以下のアイコンで状態を表しています。これらのアイコンにカーソルを合わせることで、カメラの状態がツールチップにて表示されます。【異常】が表示されている場合は「その他」 - 「エラーメッセージについて」（P.21ページ）を参照してください。

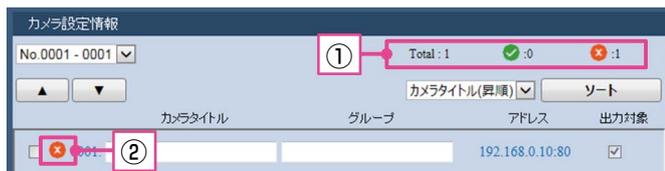


お知らせ

- カメラの状態表示はデータ取得のタイミングで更新されます。
- 人数カウントデータをSDメモリーカードに保存している場合、カメラ設定によりSDメモリーカードの状態を本アプリに通知することが可能です。本機能を使用する場合は、次項の「SDメモリーカード故障検知機能について」を参照してください。

重要

- 本アプリを起動してから一度も「自動取得」または「手動取得」を実行していない場合、カメラに一度も接続をしていない状態であるため、各カメラの状態は【異常】（接続未確認）が表示されます。



①カメラ状態一括表示

アイコン横に状態ごとのカメラ台数を表示しています。

②カメラ状態一覧表示

カメラごとの状態をアイコンで確認できます。

SDメモリーカード故障検知機能について

本アプリではカメラからSDメモリーカードの状態について通知を受信し、カメラ状態表示に反映できます。以下の状態について状態を通知することができます。

SDメモリーカード認識できず
SDメモリーカード・フル
SDメモリーカード残量警告 (カメラで設定したSDメモリーカード残容量通知の値によって通知開始のタイミングが異なります)

本機能を使用する場合は、カメラのブラウザー側で「独自アラーム通知」の設定が必要となります。

<カメラのブラウザー側の設定>

最初に「アラーム」 - 「通知」 - 「独自アラーム通知」画面を表示させます。その後、以下の手順で設定します。詳細はカメラの取扱説明書 操作・設定編を参照ください。



- ①独自アラーム通知でOnを選択。
- ②通知先ポート番号を入力。(初期値は1818)
- ③通知先の「診断」にチェックを付け、通知先アドレスに本アプリをインストールしているPCのIPアドレスを入力。
- ④[設定] ボタンを押し、設定を反映します。

<「集計・グラフ簡易表示アプリ」側の設定>

- ①PC側で独自アラームを受信するポートを設定するため、本アプリと同階層のフォルダーに保存されているconfig.txtを開き、SELFNOTICE_PORTに受信したいポート番号を入力し、保存してください。(初期値は1818)
- ②本アプリを再起動してください。

重要

- 通知結果は「集計・グラフ簡易表示アプリ」画面のデータ取得中、データ出力中、ログ表示中以外に反映されません。
- 本機能を使用するには、独自アラーム通知を受信するポート番号が使用できるようにファイアウォールの設定をしてください。
- 画面右下に「指定TCPポートの空きを確認できなかったため、SDメモリーカード故障検知機能を無効のまま起動します」と表示された場合、他のアプリケーションが使用するポート番号と重複しています。カメラの通知先ポート番号と本アプリのポート番号を変更してください。
- インターネット経由でPCに通知する場合は、PCをDDNSサービスや固定のグローバルIPアドレスサービスに登録する必要があります。また、ルーターにポートフォワーディング設定をする必要があります。詳細はご使用のルーターの取扱説明書を参照ください。

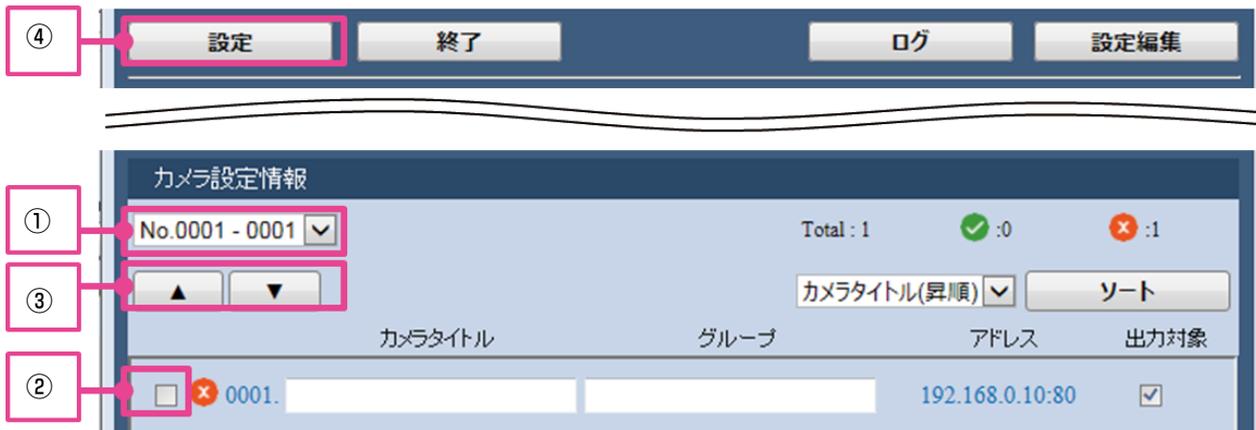
データ出力

データ出力は、PC内に蓄積した人数カウントデータを元に統計処理し、結果を出力します。
結果の出力方法には「CSVデータ」出力と「帳票」出力の2種類があります。

お知らせ

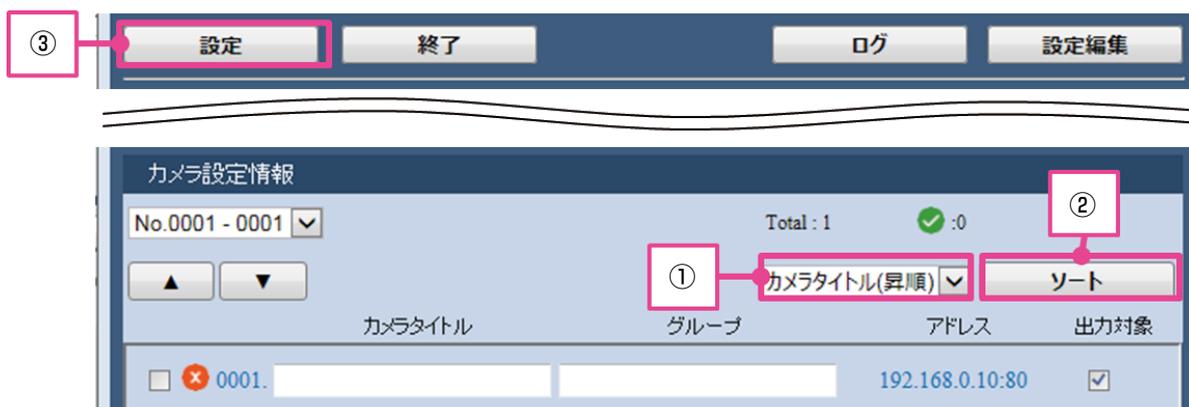
- 出力されるカメラの順番を「入れ替え機能」や「ソート機能」により変更できます。

カメラ情報表示切替と入れ替え



- ①登録されたカメラ番号の範囲が表示されます。
- ②順番を入れ替えたいカメラの「チェックボックス」にチェックを入れます。
- ③「▲」ボタンを押すとチェックしたカメラが1行上に移動します。
「▼」ボタンを押すとチェックしたカメラが1行下に移動します。
- ④「設定」ボタンを押し、設定を反映します。

ソートの手順

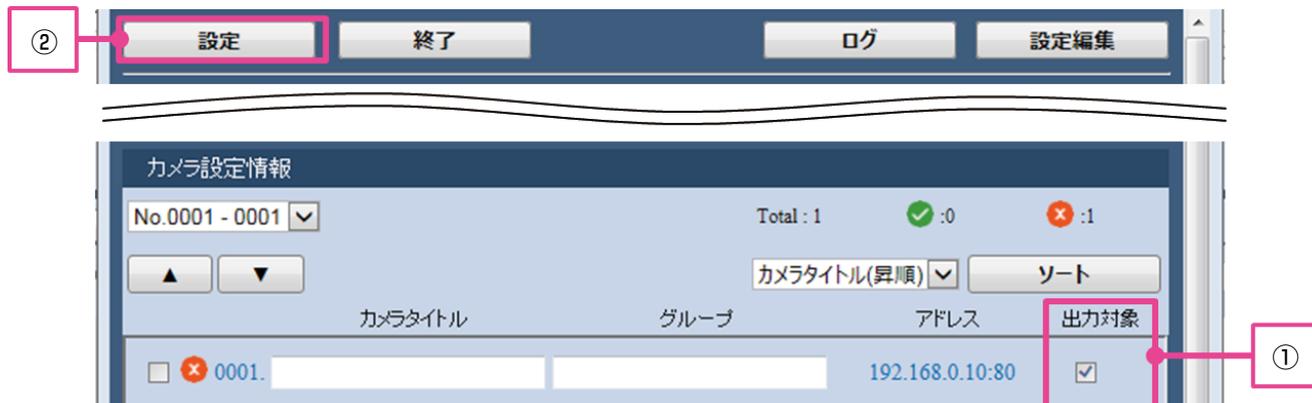


- ①ソートしたい場合、下記項目からソート方法を選択します。
- ②「ソート」ボタンを押すとソートが実行されます。
- ③「設定」ボタンを押し、設定を反映します。

カメラタイトル(昇順)
カメラタイトル(降順)
グループ(昇順)
グループ(降順)
アドレス(昇順)
アドレス(降順)

データ出力（つづき）

出力対象設定の手順



- ①出力対象の列からデータ出力したいカメラの「チェックボックス」にチェックを入れます。 ②「設定」ボタンを押し、設定を反映します。

CSVデータについて

CSVデータは、データのみをCSV形式（カンマ区切り）で保存したファイルです。各グループごとの総計(カウント合計)が出力される「グループ総計」のファイルと、同一グループ内のカメラ単位でのカウント値が出力される「グループごと」のファイルが出力されます。

お知らせ

- 指定した年月日の日報(1時間単位)または月報(1日単位)から選択してファイルを出力できます。

	日報		月報	
	グループ総計	グループごと	グループ総計	グループごと
ファイル名	yyyymmdd_Result_PeopleCount(Total).csv	yyyymmdd_Result_PeopleCount(グループ名).csv	yyyymm____Result_PeopleCount(Total).csv	yyyymm____Result_PeopleCount(グループ名).csv
出力期間	指定した範囲の時間帯		31日分 (1日あたりの値は指定した範囲の時間帯内の値)	
保存内容	グループ名	カメラ名	グループ名	カメラ名
	人数種別(入店人数/退店人数)			
	年/月/日		年/月	
	各時刻の人数カウントの合計値		各日の人数カウントの合計値	
	比較年月日における上記値に対する増減比		比較年月における上記値に対する増減比	
	全グループ合計値に対する構成比	グループ合計値に対する構成比	全グループ合計値に対する構成比	グループ合計値に対する構成比
各時刻の人数カウント値		各日の人数カウント値		

(補足) CSVデータ出力形式（※日報、グループ総計のファイルの場合）

- ① 1行目：タイトル
- ② 2行目：項目名/時刻情報(時間単位)
- ③ 3～6行目：全グループのカウント合計値
※グループごとの場合：選択したグループのカウント合計値
- ④ 7行目以降：各グループのカウント合計値
※グループごとの場合、選択したグループ内のカメラ単位のカウント値

お知らせ

- ③と④は出力対象の入店人数/比較対象の入店人数/出力対象の退店人数/比較対象の退店人数の計4行のデータが1グループごとに出力されます。

データ出力（つづき）

CSVデータ出力例 ※日報、グループ総計のファイル

```

① 2017/2/10,人数計測結果(日報)
② グループ,人数種別,年/月/日,合計,増減比,構成比,11:00-12:00,12:00-13:00,13:00-14:00,14:00
③ 合計,入店人数,2017/2/10,12704,1.005063291,1.1008,2011,1671,1614,1466,1488,1354,1112,980
③ 合計,入店人数,2017/1/10,12640,,1.1201,2317,1447,1539,1418,1327,1176,1135,1080
③ 合計,退店人数,2017/2/10,11474,1.078282116,1.823,1707,1511,1432,1332,1367,1267,1017,1018
③ 合計,退店人数,2017/1/10,10641,,1.791,1795,1387,1429,1197,1079,957,1051,955
④ 1F,入店人数,2017/2/10,464,1.069124424,0.22,49,45,62,42,70,66,54,37,39
④ 1F,入店人数,2017/1/10,434,,-,49,40,68,36,61,66,54,34,26
④ 1F,退店人数,2017/2/10,447,1.13740458,0.23,30,32,52,55,66,74,59,42,37
④ 1F,退店人数,2017/1/10,393,,-,24,28,34,57,57,63,60,34,36
④ B1F,入店人数,2017/2/10,2816,1.05271028,0.55,239,341,322,368,353,391,324,250,228
④ B1F,入店人数,2017/1/10,2675,,-,246,334,296,373,305,408,232,243,238
④ B1F,退店人数,2017/2/10,2579,1.141150442,0.53,159,267,293,334,304,328,335,273,286
④ B1F,退店人数,2017/1/10,2260,,-,128,198,328,281,262,296,255,281,231
    
```

重要

- カメラタイトルを空欄にした場合、カメラタイトルは「アドレス」になります。また、グループを空欄にした場合、グループは「空白」になります。
- データ未計測や未取得の日時は「***」になります。
日報の場合は1時間単位、月報の場合は1日単位(対象の時間帯)のデータが、一部またはすべて存在しないとき「***」となります。

CSVデータ出力の手順

The screenshot shows the 'データ出力' (Data Output) window. It includes fields for '対象の年月日時' (Target Date/Time) with radio buttons for '月別' (Monthly) and '日別' (Daily), and dropdown menus for year, month, and day. There are also dropdowns for '比較対象の年月日' (Comparison Date) and '出力先' (Output Destination). At the bottom, there are buttons for '参照' (Reference) and 'CSVデータ出力' (CSV Data Output). Numbered callouts 1 through 6 point to these specific elements.

- ①月報を出力する場合は「月別」を選択、日報を出力する場合は「日別」を選択します。
- ②出力したい対象の年月日を選択します。
- ③CSVデータは比較対象のデータも同時に出力することが可能です。
比較対象の年月日を選択します。
- ④出力したい時間帯を選択します。
月別を選択した場合、その時間帯の合計カウント値を1日の値として出力します。
- ⑤ [参照] ボタンを押すと、フォルダ選択ダイアログが開き、CSVデータの出力先を指定します。(空欄の場合はデスクトップに出力されます。)

- ⑥「CSVデータ出力」ボタンを押すと、開始確認のメッセージが表示されます。
[OK] ボタンを押すと、CSVデータの出力が開始されます。
CSVデータの出力が終了すると、完了メッセージが表示されます。



重要

- データ出力を実施する前にはカメラからのデータ取得が必要です。

データ出力 (つづき)

帳票について

帳票は、集計データを表とグラフで表現してExcel形式で保存したファイルです。

帳票では1つのファイルを生成し、下記3項目を別々のシートで出力します。

お知らせ

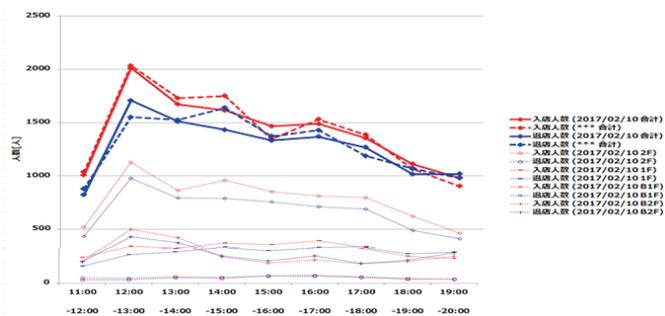
- 指定した年月日の日報(1時間単位)または月報(1日単位)から選択してファイルを出力できます。
※ファイル名(日報の場合)：
yyyymmdd_Result_PeopleCount.xlsxm
(月報の場合は” dd” が” _” に換わります)

シート名	内容
Total	グループの総計を記録しています。記録内容は「CSVデータについて」を参照してください。また、表の下にはグラフを表示しています。
グループ名	グループごとの合計を記録しています。記録内容は「CSVデータについて」を参照してください。また、表の下にはグラフを表示しています。
Err	各カメラにおいて、時間帯ごとに発生したエラー内容を先頭シートに記載しています。 ※詳細は次項を参照してください。

表の例

2017年02月10日 人数計測結果 (日報)														
グループ	入店種別	年/月/日	合計	増減比	構成比	11:00-12:00	12:00-13:00	13:00-14:00	14:00-15:00	15:00-16:00	16:00-17:00	17:00-18:00	18:00-19:00	19:00-20:00
合計	入店人数	2017/2/10	12704	04%	100%	1008	2011	1671	1614	1466	1488	1354	1112	980
	入店人数	2017/1/10	13490	100%	110%	1105	2003	1853	1742	1572	1511	1216	1222	1158
	退店人数	2017/2/10	11474	99%	100%	823	1707	1511	1432	1332	1367	1267	1017	1018
	退店人数	2017/1/10	11562	100%	100%	827	1585	1499	1508	1320	1338	1206	1084	1094
2F	入店人数	2017/2/10	404	109%	3%	36	56	52	42	57	53	59	32	39
	入店人数	2017/1/10	426	109%	3%	36	56	52	42	57	53	59	32	39
	退店人数	2017/2/10	447	103%	3%	30	32	52	55	66	74	59	42	37
	退店人数	2017/1/10	433	98%	4%	27	35	45	45	50	65	60	45	32
	入店人数	2017/2/10	2816	97%	22%	239	341	322	368	353	391	324	250	228
	入店人数	2017/1/10	2897	97%	21%	317	351	347	452	337	347	275	222	249

グラフの例 ※比較対象のデータは合計値のみ出力



重要

- グラフに出力される情報は、1グループにつき最大カメラ16台までです。
- カメラタイトルを空欄にした場合、カメラタイトルは「アドレス」になります。また、グループを空欄にした場合、グループは「空白」になります。
- グループを空欄にした場合は空白のシートが生成され、帳票が出力されます。
- データ未計測や未取得の日時のセル色はグレーになります。
日報の場合、1時間分のデータ、月報の場合は1日分(対象の時間帯)のデータが、一部またはすべて存在しなければ対象のセル色がグレーとなります。
- 自動データ取得時に「取得時に当日の日別 帳票を作成」のチェックをつけて出力される帳票には、当日の指定されている時間帯のデータのみが出力され、比較対象のデータは出力されません。

Errシートについて

Errシートは下記のエラーが発生した場合のみ出力されます。

エラー内容	エラー詳細
指定した期間のデータがカメラ内に存在しない場合	ファイル無し
カメラと接続できなかった場合	

Errシートの例

人数計測データ 取得エラー						
時刻	アドレス	カメラタイトル	グループ	進行方向	エラー詳細	
2017/2/10 8:00	192.168.0.2:80	Cam1	1F	入店	ファイル無し	
2017/2/10 8:00	192.168.0.2:80	Cam1	1F	退店	ファイル無し	
2017/2/10 9:00	192.168.0.2:80	Cam1	1F	入店	ファイル無し	
2017/2/10 9:00	192.168.0.2:80	Cam1	1F	退店	ファイル無し	
2017/2/10 8:00	192.168.0.3:80	Cam2	2F	入店	ファイル無し	
2017/2/10 8:00	192.168.0.3:80	Cam2	2F	退店	ファイル無し	
2017/2/10 9:00	192.168.0.3:80	Cam2	2F	入店	ファイル無し	
2017/2/10 9:00	192.168.0.3:80	Cam2	2F	退店	ファイル無し	

データ出力（つづき）

帳票出力の手順

データ出力

対象の年月日時 月別 日別 2017年1月1日 0時から24時まで

比較対象の年月日 []年[]月[]日

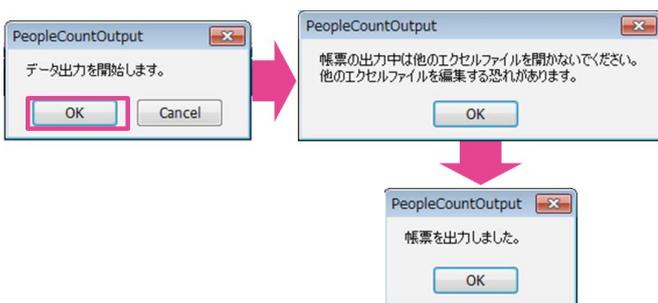
出力先 []

出力先 []

参照 CSVデータ出力

参照 帳票出力

- ①月報を出力する場合は「月別」を選択、日報を出力する場合は「日別」を選択します。
- ②出力したい対象の年月日を選択します。
- ③帳票は比較対象のデータも同時に出力することが可能です。比較対象の年月日を選択します。
- ④出力したい時間帯を選択します。月別を選択した場合、その時間帯の合計カウント値を1日の値として出力します。
- ⑤ [参照] ボタンを押すと、フォルダ選択ダイアログが開き、帳票の出力先を指定します。(空欄の場合はデスクトップに出力されます)
- ⑥ [帳票出力] ボタンを押すと、開始確認メッセージが表示されます。[OK] ボタンを押すことで帳票の出力が開始されます。表示されるメッセージにしたがって進んでください。帳票の出力が終了すると、完了メッセージが表示されます。



重要

- 帳票を出力する前にはカメラからのデータの取得が必要です。

【帳票で表示したいグラフを切り替える方法】

帳票では表示できるグラフは16グループまでのため、どの16グループのグラフを描画するかを任意で指定し、指定した情報をもとにグラフを更新することができます。

(初期は最大上位16グループが描画されています。)

グラフ表示選択		カメラタイトル
<input checked="" type="checkbox"/> 全選択	④	合計
<input checked="" type="checkbox"/> 描画する	③	192.168.0.10:80
<input type="checkbox"/> 描画する		
グラフ更新	⑤	1.2

- ①出力された帳票を開いてください。
- ②グラフを更新したいシートを開いてください。
- ③描画したいグループのチェックボックスにチェックしてください。(描画されるのは選択されているグループのうち表の上から最大16グループまでです)
- ④すべて選択したい場合は全選択をチェックしてください。(描画されるのは選択されているグループのうち表の上から最大16グループまでです)
- ⑤「グラフ更新」ボタンを押してください。
- ⑥「更新が完了しました。」が表示されるとグラフ更新完了です。

重要

- 手動で帳票を編集した後に本機能を使用すると、正常に動作しないことがあります。シート名や表のフォーマット、各パーツは編集しないでください。

データ出力（つづき）

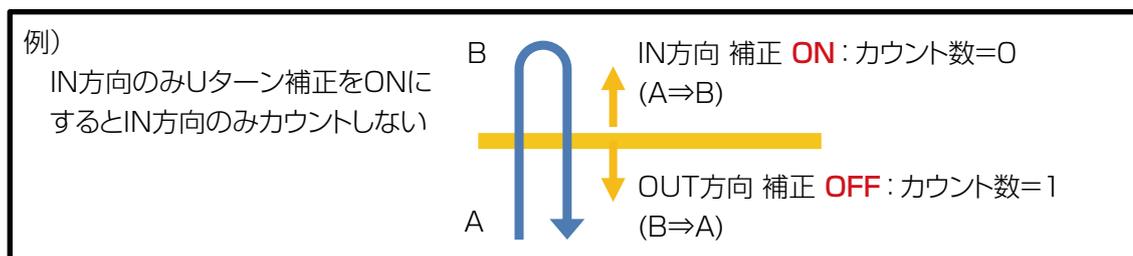
カウントデータの補正設定について



Uターン補正設定の手順

パスワード	HTTP ポート番号	Uターン補正	
		IN方向 (A⇒B)	OUT方向 (B⇒A)
		<input checked="" type="checkbox"/> 全選択	<input checked="" type="checkbox"/> 全選択
.....	80	<input checked="" type="checkbox"/> する	<input checked="" type="checkbox"/> する

- ①本機能をONにすることにより対象ラインにおいて、人数カウント数からUターン者によるカウントを抑制するかどうかを自動的に判断し、人数カウント数を補正します。ONにするには欄右側の「する」にチェックします。（デフォルトは機能ON）
- ②「設定」ボタンを押し、設定を反映します。



重要

- 人がカウント後に検知エリア外に一度出て、再びラインを越えてもUターンとは判定されません。
- 本機能をONにしても、通過人数によってUターン者カウント抑制の有無を自動的に判断するため、OFFの場合と変化がないことがあります。
- 入店者/退店者が出入口で交差する頻度が高い場合は補正しないことを推奨します。

その他

ログ表示機能について

本アプリでは発生したエラーのログやデータ取得の開始・終了のログなどを画面で確認できます。



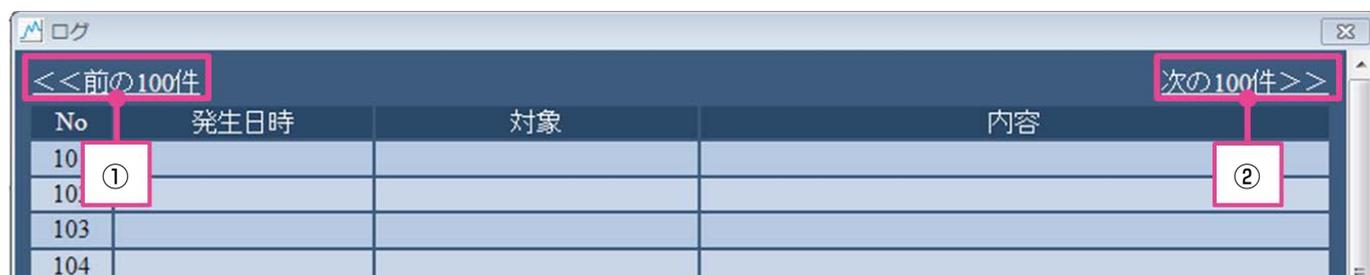
「集計・グラフ簡易表示アプリ」画面右上の「ログ」を押すことでログ表示画面が表示されます。最大で過去1000件までのログが表示できます。

<ログ表示画面>

1画面で100件のログが表示できます。

①前の100件のログを確認したい場合、「<<前の100件」を押してください。

②次の100件のログを確認したい場合、「次の100件>>」を押してください。



重要

- 必要に応じて内容をご確認ください。エラーの対処方法は「その他」－「エラーメッセージについて」（[P.21](#)ページ）を参照してください。

その他（つづき）

エラーメッセージについて

ここでは主なエラーメッセージの原因と対策について説明します。

●設定編集関連

メッセージ	原因	対策
パスワードエラー回数が規定値に達しましたので、入力待ち時間が発生します。	設定編集画面へのログインパスワード入力時に3回連続で入力を誤った。	メッセージウィンドウを閉じた後に一定時刻(3回につき+1分) 待機して、再度設定編集画面へログインする。
カメラ情報に未記入の項目があります。処理を中断します。	アドレスが入力されていない。	アドレスを入力する。
	HTTPポート番号が入力されていない。	HTTPポート番号を入力する。
	ユーザー名が入力されていない。	ユーザー名を入力する。
	パスワードが入力されていない。	パスワードを入力する。
入力内容に誤りがあります。再度入力してください。	アドレスに誤りがある。	正しいアドレスを入力する。 ^{※1}
	HTTPポートに誤りがある。	正しいHTTPポート番号を入力する。 ^{※1}
	ユーザー名に誤りがある。	正しいユーザー名を入力する。 ^{※1}
	パスワードに誤りがある。	正しいパスワードを入力する。 ^{※1}
このグループ名は予約されているため、別のグループ名を使用してください。	グループ名に「Total」、「Settings」、または「Err」を使用している。(大文字/小文字問わず)	「Total」、「Settings」、「Err」以外のグループ名を使用する。
アドレスが重複しています。	同じアドレスとポート番号の組み合わせが複数存在する。	同じアドレスとポート番号の組み合わせが重複しないように設定する。
既存のカメラ情報の"変更前アドレス"と重複しています。「設定」ボタン押下後に再度新規追加してください。	アドレス変更後、「設定」ボタンを押さずに「新規追加」で変更前のアドレスを追加したため。	アドレス変更後は一度「設定」ボタンを押して、再度変更前のアドレスで登録する。
以下のアドレスのカメラは本ツール登録上限によりインポートされませんでした。登録しているカメラ台数が最大数に達しているため、作業を中断します。	カメラ情報に登録上限(96台)を超えて、登録しようとしている	登録台数を96台に制限する。使用していないカメラ情報を削除する。

※1 詳細は「その他」 - 「制約事項」を参照してください。

●環境設定関連

メッセージ	原因	対策
入力されていない項目があります。	新しいパスワードが入力されていない。	新しいパスワードを入力する。
	確認用パスワードが入力されていない。	確認用パスワードを入力する。
パスワードは8文字以上で入力してください。	新しいパスワードに8文字未満の文字が入力されている。	新しいパスワードに8文字以上のパスワードを入力する。
	確認用パスワードに8文字未満の文字が入力されている。	確認用パスワードに8文字以上のパスワードを入力する。
入力内容に誤りがあります。再度入力してください。	パスワードに入力不可文字が含まれる。	パスワードに入力不可文字を利用しない。
	パスワードの文字種が3種類以上ではない。	パスワードの文字種を3種類以上組み合わせる。
新しいパスワードと確認用のパスワードが一致していません。	新しいパスワードと確認用のパスワードが一致していない。	新しいパスワードと確認用のパスワードが一致するパスワードを入力する。
パスワードが設定されなかったため、処理を中断します。	パスワードを設定しないまま、環境設定画面を終了した。	パスワードを設定する。

その他（つづき）

データ取得関連

メッセージ	原因	対策
<ul style="list-style-type: none"> カメラと接続できません。 カメラ情報（タイムゾーン情報）が取得できませんでした。 不明なエラーが発生しました。 	アドレスに誤りがある。	正しいアドレスを入力する。
	HTTPポート番号に誤りがある。	正しいHTTPポート番号を入力する。
	PCがカメラのネットワークに接続されていない。	PCをカメラと同一ネットワークに接続する。
ユーザー名/パスワードが違います。	ユーザー名に誤りがある。	正しいユーザー名を入力する。
	パスワードに誤りがある。	正しいパスワードを入力する。
人数カウント用拡張ソフトが導入されていません。	WV-SAE303Wがインストールされていない。	WV-SAE303Wをインストールする。
	人数カウント非対応のカメラにアクセスしようとしている。	非対応のカメラはカメラ情報の一覧から削除する。
人数カウント設定が有効になっていません。	人数カウント設定が有効になっていないため。	「人数カウント簡単設定ツール」で「簡単設定」を実行する。 ※詳細は「取扱説明書 設置・設定編」を参照してください。
指定されたURLは存在しません。	人数カウント非対応のカメラにアクセスしようとしている。	非対応のカメラはカメラ情報の一覧から削除する。
カメラのタイムゾーン設定が取得できていません。	一度もカメラからデータを取得していない。	自動もしくは手動でカメラからデータを取得する。
IPアドレスが取得できませんでした。	アドレスに誤りがある。	正しいアドレスを入力する。
	DNSサーバに接続できない。	弊社ホームページにアクセスできることを確認するなどし、DNSサーバに接続できていることを確認する。
前回の自動データ取得が完了していないため、この時刻での自動データ取得をスキップします。	前回のデータ取得が完了していないため。	ネットワーク環境を見直す。 データ取得間隔を伸ばす。
ツールを置いているフォルダの空き容量が足りないため、データ取得を中止します。	データ取得中に本ツールを置いているドライブの空き容量が100 MBを下回っている。	本ツールを置いているドライブの空き容量を100 MB以上にする。

その他（つづき）

●データ出力関連

メッセージ	原因	対策
システムドライブ直下には出力できません。別のフォルダを指定してください。	OSがインストールされているドライブの直下にはデータを出力できない。	データ出力先にはOSがインストールされているドライブの直下以外を指定する。
フォルダ内には出力できません。 ※「」はフォルダ名	*に表示された「C:¥Program Files」や「C:¥Windows」などのUACでアクセスが制限されているフォルダを出力先に指定している。	*に表示された「C:¥Program Files」や「C:¥Windows」以外のフォルダを出力先に指定する。
これから作成するファイルと同名のファイルがExcelで開かれています。	これから作成する帳票と同名のファイルがExcelで開かれている。	これから作成するファイルと同名のファイルを閉じて、再度、「帳票出力」ボタンを押す。
Microsoft Excelがインストールされていないので、帳票を出力できません。	Microsoft Excelがインストールされていないため。	Microsoft Excelをインストールする。
実在する日付を指定してください。	実在しない日付が指定されている。 (例:2/31)	実在する日付を指定する。
出力する時間帯の設定に誤りがあります。	出力したい時間帯の開始時刻が終了時刻の後になっている。	出力したい時間帯の開始時刻が終了時刻の前になるように設定する。
カメラのタイムゾーン設定が取得できていません。 データ取得を実施してください。	カメラから一度もデータ取得していない。	データ取得を実施する。
出力先の空き容量が足りないため、出力を中止します。	出力先のドライブの空き容量が100 MBを下回っている。	出力先のドライブの空き容量を100 MB以上にする、または、出力先に空き容量が100 MB以上のドライブを指定する。
出力先のフォルダは存在しません。	出力先に存在しないフォルダが指定されている。	フォルダが存在する出力先を設定する。

●SDメモリーカード状態通知関連

メッセージ	原因	対策
指定TCPポートの空きを確認できなかったため、SDメモリーカード故障検知機能を無効のまま起動します。	本アプリをインストールしているPCが、本アプリと同階層のフォルダ内に保存されているconfig.txt内に設定しているSELFNOTICE_PORTの番号のポートを既に利用しているため。	config.txtのSELFNOTICE_PORTに設定しているポート番号を変更する。 また、カメラ側の独自アラーム通知先のポート番号を変更する。 ※詳細は「SDメモリーカード故障検知機能について」(P.13ページ)を参照。
以下のカメラはSDメモリーカードがご利用いただけません。すみやかにSDメモリーカードを交換してください。	カメラに挿入されているSDメモリーカードが書き込み禁止になっている、もしくは故障している。	SDメモリーカード交換前に手動で故障期間のデータを取得し、その後SDメモリーカードを交換する。
以下のカメラはSDメモリーカードの空き容量が少なくなっている、もしくは空き容量無しです。	カメラに挿入されているSDメモリーカードの空き容量が少なくなっている、もしくは空き容量がない。	空き容量減少の心当たりが無い場合には、SDメモリーカードを交換する。

その他（つづき）

●その他

メッセージ	原因	対策
Can't be written in *	*のファイルの書き込みが禁止されている。	書き込みが禁止されていないフォルダー / ファイルに書き込む。
※「*」はファイル名		
ファイルが書き込めません。	書き込み対象のファイルが読み取り専用になっている。	書き込み対象のファイルのプロパティから、読み取り専用のチェックを外す。
ファイル・フォルダ操作の異常を検知しました。	ファイル/フォルダーの処理に失敗している。	関連するファイル/フォルダーを閉じる
自動データ取得機能が有効なので、終了することができません。	「データ取得」が「自動取得設定」に設定されている。	「データ取得」を「手動取得設定」に設定する。
config.txtに異常を検知しました。初期値で起動します。	本アプリと同階層のフォルダーに保存されているconfig.txtに誤った設定値を入力・保存した。	編集前のconfig.txtを利用する。 または、バックアップとして保存しているエクスポートファイルをインポートする。 または、初期値の設定を保存し、再度登録する。
カメラ情報設定ファイルに異常があります。カメラ情報を初期化しますか？	ユーザーが、インストール先フォルダ直下のカメラ情報設定ファイル (config.txt) を編集した時に誤った情報を保存してしまった。	バックアップとして保存しているエクスポートファイルをインポートする。 または、カメラ情報を初期化する。
ファイルが不正です。	カメラ情報ファイルが間違っ変更されている。	エクスポート時から変更が加えられていないカメラ情報ファイルを指定する。
	カメラ情報ファイルではないファイルを指定した。	カメラ情報ファイルを指定する。
このファイルを開くアクセス許可がありません。	ファイルの読み取りが禁止されている。	ファイル読み取りの禁止を解除する。
	出力先フォルダーが書き込み禁止になっている。	出力先フォルダーの書き込み禁止を解除する。

その他（つづき）

Q&A

ここでは、よくある質問について回答しています。

Q(質問)	A(回答)
データが出力されない	カメラが登録されていること、カメラからデータを取得していること、データが存在する期間を指定していること、出力対象が選択されていることを確認してください。
特定の時間帯のみデータが更新されていない	カメラ内部にデータが存在していないためです。その他、確認事項としてカメラからのデータ取得に成功していること、出力対象の時間帯に含まれていることを確認してください。
指定の時刻に自動取得されない	カメラは登録されていること、「自動取得設定」に設定されていること、基準とする時刻や取得間隔に間違いがないことを確認してください。
集計データや帳票が更新されていない	出力対象と同名のファイルを開いた状態でないこと、カメラから最新のデータが取得できていることを確認してください。また、カメラとPCの時刻がずれている可能性があります。ずれていた場合は合わせてください。
設定が反映されていない	設定変更後、「設定」ボタンの押し忘れの可能性があります。再度、設定をご確認ください。
ツールが一時的にフリーズする	カメラと接続するため一時的にフリーズしますが、数秒で復帰いたしますのでお待ちください。
途中でアドレスを変更したいが、変更前のデータは引き継がれるか？	変更前のアドレス内にデータが含まれる場合は、フォルダ名を変更後のアドレスにリネームして、データを引き継ぎます。2台のカメラのアドレスを入れ替えた際も同処理となりますが、運用後の変更はなるべくお控えください。
過去に登録していたアドレスと同一のを登録した際に、誤って初期化を選択してしまい、過去のデータが無くなってしまった	本アプリインストール先フォルダ直下の「data」フォルダ内に「bak*****」というフォルダが作成され、初期化したアドレスの過去の人数カウントデータがバックアップされています。本アプリインストール先フォルダ直下の「log.txt」もしくは「log」フォルダ内のログを確認することで、どのアドレスがどのフォルダ名で保存されているかを確認することができます。
PCアプリ（ASM300）と「集計・グラフ簡易表示アプリ」は共存可能か？	ASM300との共存は可能です。「人数カウント簡単設定ツール」や「集計・グラフ簡易表示アプリ」とASM300のPC環境条件は異なりますので事前に確認してください。
1本のラインでカウントできる最大人数は？	1フレームあたりに検知可能な最大人数は32人までとなります。また、計測間隔ごとのカウント最大数は65,535人となります。
データサイズは？	1カメラ、1時間で3 KBくらいになります。
多拠点の遠隔本部からデータ吸い上げは可能か？	各拠点のカメラに対して異なったURLを付与し、そのURLを本アプリのアドレスに設定することで、遠隔地からデータを吸い上げることができます。別途DNS等の設定が必要となります。
カウントデータを比較する際、過去何年前までのデータと比較できるのか？また比較対象が二つ以上あるときは？	カウントデータをPCに保存できる期間は、10年間です。10年を超えるデータは自動的に削除されます。そのため、最大9年前とのデータ比較が可能です。ただし、比較対象は1つしか選べませんので、まとめるには比較対象を変更し、複数回出力して統合するなどの手作業による加工が必要です。
自動データ取得時に、カメラとの接続が切れていた等で、データ集計ができなかった場合はどうなるか？	次の自動データ取得のタイミングで、取得できていなかったデータの取得をリトライします。
カメラでのデータ保管期間は？取得したらカメラのデータは削除されるか？	PCからカウント結果を取得しても、カメラ内のデータは削除されません。保存期間は、人数計測結果の保存先がSDメモリーカードの場合は3か月分、内部メモリーの場合は1日分になります。それ以上になると、古いデータから削除していきます。
設定編集ログインパスワードを忘れてしまった	本アプリケーションをアンインストールしてから再度インストールしてください。再インストール後に再度設定をしてください。
設定値(config.txt)が異常状態となり、復旧できなくなった	設定情報のエクスポートを実施している場合は設定をインポートし、復旧してください。設定情報のエクスポートを実施していない場合は本アプリケーションをアンインストールしてから再度インストールしてください。再インストール後に再度設定をしてください。

その他（つづき）

制約事項

- 出力した帳票を開いたまま帳票を出力すると帳票が更新されません。出力時は帳票を閉じてください。
- PC時刻とカメラ時刻にズレがある場合、自動データの取得や自動再起動機能の開始タイミングに影響があります。時刻を合わせてください。
- PCのログアウト中は自動データ取得ができません。取得するにはログインしてください。
- カメラ情報の入力文字については以下を参照してください。

項目	入力可能文字	最大文字数	入力制限文字	備考
アドレス	半角英数、「-」「_」	253	—	—
ユーザー名	半角英数字、記号	32	「"」「&」「:」「;」「¥」	—
パスワード	半角英数字、記号	32	「"」「&」	4文字以上
HTTPポート番号	「0」～「9」	5	—	—
設定編集画面ログインパスワード	半角英数字、記号	32	「"」「&」	8文字以上 3種類以上の文字の組み合わせ
グループ	半角英数字、全角英数字、漢字、カタカナ、ひらがな、半角記号、全角記号	31	「Total」「Err」「Settings」（大文字・小文字区別無し）、「:」「¥」「?」「[]」「/」「*」	—
カメラタイトル	半角英数字、全角英数字、漢字、カタカナ、ひらがな、半角記号、全角記号	31	—	—

その他（つづき）

設定情報エクスポートデータ

本データは、設定のバックアップ用となります。最終のエクスポートデータを保管してください。

データ活用一覧

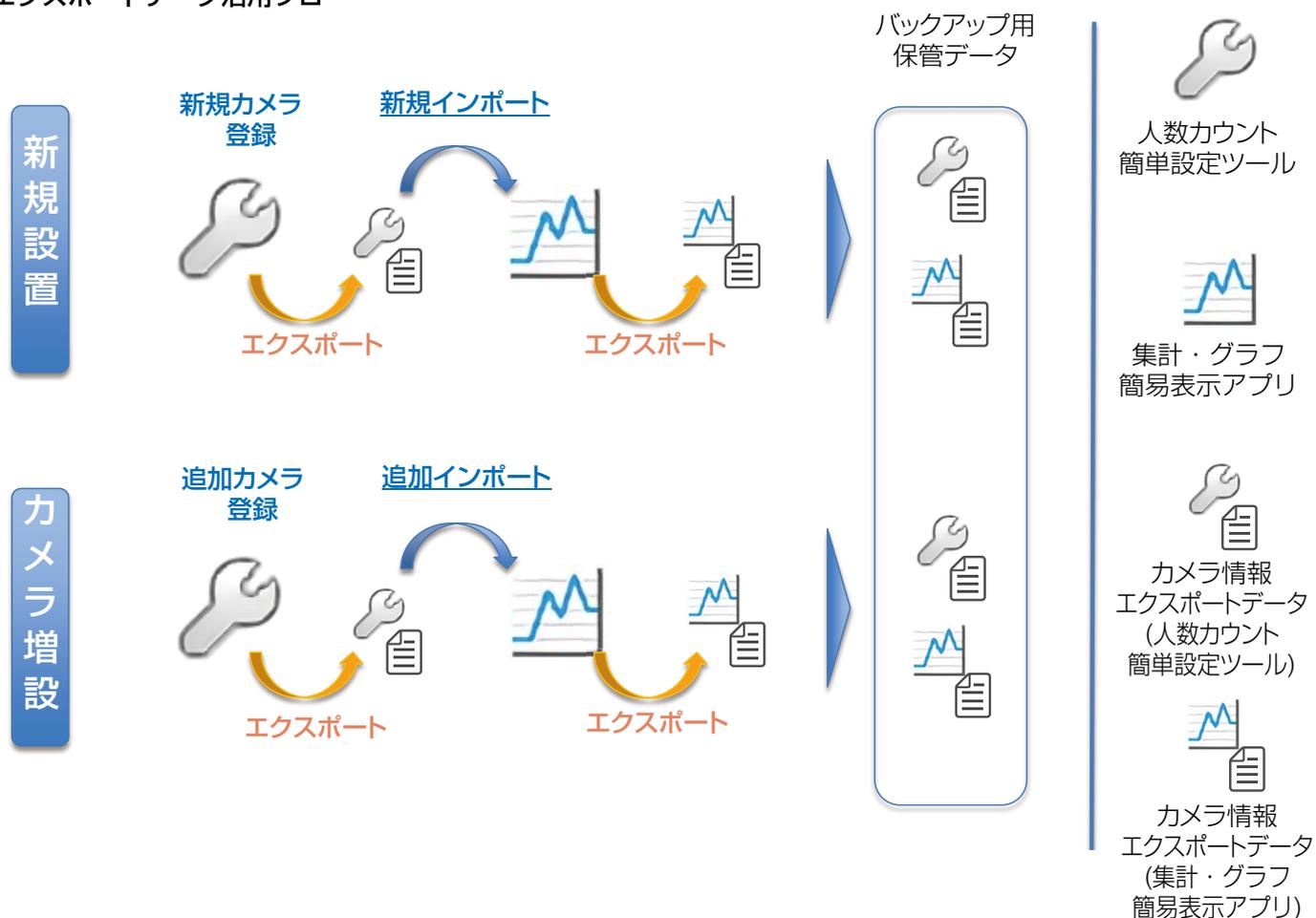
機能	内容	備考
設定情報 インポート	「人数カウント簡単設定ツール」または「集計・グラフ簡易表示アプリ」のエクスポートデータを使用	「新規インポート」の場合は「集計・グラフ簡易表示アプリ」の全設定を登録します。 「追加インポート」の場合はカメラ情報のみ登録します。
設定情報 エクスポート	カメラ情報を編集した場合、設定情報をエクスポート(バックアップ用)	—

※運用開始後にカメラのアドレス、HTTPポート番号を変更する場合は本アプリでも設定を変更してください。カウントデータが新しい設定に引き継がれます。

重要

- カメラ情報をインポートする際、インポート種別の選択にご注意ください。次項「エクスポートデータ活用フロー」を参照してください。

エクスポートデータ活用フロー



その他（つづき）

フォルダー・ファイルについて

集計・グラフ簡易表示アプリケーションのフォルダーやファイルの一部について説明します。

インストールするフォルダーは初期値の場合には、以下になります。

C:\Program Files\Panasonic\PeopleCountOutput (Microsoft Windows (32bit) の場合)

C:\Program Files (x86)\Panasonic\PeopleCountOutput (Microsoft Windows (64bit) の場合)

名称	フォルダー / ファイル	内容
data	フォルダー	集計データなどを保存
config.txt	ファイル	集計・グラフ簡易表示アプリケーションの設定値と登録したカメラ情報を保存
log	フォルダー	保守用にログを保存
log.txt	ファイル	保守用にログを保存
user_log	フォルダー	動作ログを保存
user_log.txt	ファイル	動作ログを保存
Settings_bf_imp	フォルダー	設定値を保存したときにconfig.txtをバックアップ
Settings_bf_vup	フォルダー	バージョンアップしたときにconfig.txtをバックアップ

お知らせ

- CSVデータ出力ファイル、帳票出力ファイルやエクスポートしたカメラ設定情報ファイル (*.dat)は、お客様が出力先に指定したフォルダーに保存されます。

重要

- フォルダーにあるファイルの取扱には十分注意してください。ファイルが壊れたり、編集したりすると起動しなくなることがあります。

■使いかた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。

■その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック システムお客様ご相談センター

電話 フリー
ダイヤル  **0120-878-410** バ ナ ハ ヨ イ ツ 受付：9時～17時30分（土・日・祝祭日は受付のみ）
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

ホームページからのお問い合わせは <https://panasonic.biz/cns/cs/cntctus/>

ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただきます。ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくための発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニック株式会社 コネクティッドソリューションズ社

〒812-8531 福岡県福岡市博多区美野島四丁目1番62号